

ノスリ

Buteo buteo

タカ科・留鳥

名前の由来

古くは「のせ」と呼ばれていたようで、これを元に、ノスリが野の上を低く滑空することから「野擦り」と変わった、という説がある。漢字名：鵟



ノスリ

特定種

該当無し

形態的特徴

全長（くちばしの先から尾の先まで）54cm、翼を開いたときの端から端の長さ122～137cm。トビより少しだけ小さく、ずんぐりした体型をしている。黒目がちでかわいい。

背面は褐色で淡い色で羽が縁取られている。頭部は淡褐色でヒゲ状の褐色もようがある。胸から腹は黄白色で、黒っぽい縦スジもようがあるが、個体によって差がある。

尾は褐色で不明瞭な暗色帯がある。翼の下面は淡い褐色で、翼端の黒色と翼角の褐色のパッチ状の斑が目立つ。

声：割合よく鳴く鳥である。繁殖期には巢の上やその付近で「ピーヨ」とか「ピョー」などと優しい声で鳴く。飛んでいるときには「ピョー」というような少し調子を変えた声で鳴くこともあるという。

飛び方：羽ばたきはトビより速く、しなやかさが無い。翼を伸ばし円を描くように舞いながら獲物を探し、羽ばたきながら空中で停止してねらいを定め、急降下して捕らえるという。

円を描いて飛ぶとき、両翼は浅いV字形。

類似種と見分け方：ケアシノスリ、チュウヒ、トビ。

冬期に少数が渡来するケアシノスリは白と黒のコントラストが強く、尾の基部は白く先端は黒い。

チュウヒは翼や尾が長く、ヨシなどの上を低く飛ぶ事が多い。チュウヒの帆翔(翼を伸ばし円を描くように舞うこと)

は翼がV字型で、ノスリより深い。特にチュウヒのメスは全身褐色であるが、ノスリでは下面が白っぽい。

トビは全身茶褐色で下面翼角には白いパッチ状の斑があるが、ノスリは下面が白く翼角に褐色のパッチ状斑がある。



ノスリ。白っぽい胸から腹、黒っぽい目、ヤッコヒゲのような顔のもよう。円内は後ろ姿



トビ。尾が凹型

生息環境・分布

亜高山から平地の林で繁殖し、周辺の荒れ地、原野、農耕地、河原などで狩りをする。北海道では平野部の農耕地や放牧地周辺のカシワ林、カラマツ林などでも繁殖する。

分布：ユーラシア大陸の温帯から亜寒帯に広く繁殖する。日本では、北海道から四国で繁殖し、秋・冬には全国に分

散する。四国以南で冬鳥、四国以北では留鳥となる。

北海道では留鳥で、全域の平野部から山地の森林に生息する。

十勝では留鳥で、全域の平地～亜高山帯に生息。秋から冬には平地でも多く見られる。

生活サイクル

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
十勝出現期												
						繁殖						

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種) 草花

(外来種) 草花

哺乳類

(水辺) 鳥類

(草原・樹林) 鳥類
ワシ・タカ

食性・他生物との関わり

主にネズミなどの小哺乳類の他、カエル、ヘビ、昆虫、鳥など。

木の上にとまって待ったり、翼を広げて円を描くように舞いながら獲物を探す。羽ばたきながら空中に停止してねら

いを定め、急降下して獲物を襲い、鋭い爪で窒息死させる。捕食者であり、食物連鎖の頂点にたつ種のひとつ。成長してしまえば他の生物に襲われることはあまりない。

繁殖生態

繁殖期は5～9月、一夫一妻で繁殖する。つがいはなわばりを持つ。1月末ないし2月末からなわばり上空でディスプレイ（誇示のための行動・動作）が見られるという。（→興味深い話の項参照）

3月下旬から巣作りと交尾が始まる。巣は、林内の高木の枝の又に、枯枝を積み重ねて皿形に、オスメス共同で作ら

れる。産座には緑の葉のついた小枝が敷いてあるという。5～6月（4月上旬から下旬という記述もある）に2～3卵を産む。メスのみ、またはオスメス共同で卵を抱き、約33～35日でヒナがかえる。

ヒナは6週間で飛べる様になり、2ヶ月後に独立するという。それまで親はオスメスともに給餌する。

興味深い話

■開けた農耕地や原野などで狩りをするので、比較的目にする事の多いタカ。特に冬期などは山間部から平地に下りてきているものも多く、見る機会も増える。

■ノスリのディスプレイ（誇示のための行動・動作）の飛び方としては、①単独またはつがいで営巣地上空で輪を描くように翼を広げて舞うもの、②上空にいる側（多くはオス）がもう一方を攻撃するまねをするもの（まれに両者が爪を絡ませ回転しながら落下）、③風上に向かい少し羽ばたいた後滑空して急上昇、体が垂直になり失速したところで急降下、翼を広げて再び急上昇、を繰り返すというもの、があるという。

■小笠原諸島産亜種であるオガサワラノスリは文化財保護法によって国の天然記念物、環境省レッドリスト(2007)絶滅危惧I B類(EN)として、またオガサワラノスリと別亜種のダイトウノスリは種の保存法によって国内希少野生動物種、環境省レッドリスト(2007)絶滅危惧I A類(CR)として指定されている。（亜種とは、同じ種が地理的に隔離されることによって独自の分化をとげ、形態的に変化が確認できるもの）



ノスリ



停空飛翔するノスリ

配慮事項

巣をかける事のできる高木のある樹林と、その周辺が開けた環境である事が必要。

参考文献

「山溪カラー名鑑 日本の野鳥」高野伸二 編、浜口哲一・森岡照明・叶内拓哉・蒲谷鶴彦 著、山と溪谷社 1985 (1995 2版21刷)
「原色日本野鳥生態図鑑(陸鳥編)」中村雅彦・中村登流、保育社 1995
「北海道鳥類目録改訂2版」藤巻裕蔵、帯広畜産大学野生動物管理学研究室 2000
「野鳥ブックスー2 フィールドガイド日本の野鳥」高野伸二・谷口高司・森岡照明・叶内拓哉、(財)日本野鳥の会 1982 (1994 増補版7刷)
「図鑑 日本のワシタカ類」森岡照明・叶内拓哉・川田隆・山形則男、文一総合出版 1995
「日本動物大百科 第3巻 鳥類I」日高敏隆監修、平凡社 1996

「図説 日本鳥名由来事典」菅原浩・柿澤亮三 編著、柏書房 1993
「名前といわれ 日本の野鳥図鑑① 野山の鳥」国松俊英、偕成社 1995
「鳥のおもしろ私生活」ビッキオ 編著、主婦と生活社 1997
「Handbook of the Birds of Europe, the Middle East and North Africa—The Birds of the Western Palearctic Vol. II」Cramp, S. & K. E. L. Simmons (eds.), Oxford Univ. Press 1980
真木広造 (1990) 原野に狩る—ノスリの四季. アニマ、212 : 74-83.

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種)
草花

(外来種)
草花

哺乳類

(水辺)
鳥類

(草原・樹林)
ワシ・タカ類